

- ▶ 一元化に伴うデメリットは、それを上回るメリットでカバーしたり、デメリットに配慮した対応を講じるなどの工夫が重要。

知恵袋 路線統合に伴うデメリットは、それを上回るメリットでカバー

⇒ **大学・病院・福祉バスの一元化による官民共同運行コミュニティバス【北海道当別町】**

- ・当別町では、運行ルートやダイヤの検討にあたって、各運行主体が独自運行していたときと比べてサービス水準が低くならないように留意した。
- ・しかし、運行ルートやダイヤの異なる路線を効率的に統合しようとする、例えば、鉄道への乗継利便性が低下するなど、独自運行していたときよりもサービス水準が下がる場合も出てくる。
- ・そのような場合は、統合前よりも便数を増やすなどして、デメリットを上回るメリットを生み出し、各主体が合意形成しやすい路線となるよう工夫した。

知恵袋 路線再編により交通空白地域が発生しないよう、利用者実態を踏まえた路線再編と移動制約者のための代替移動手段を確保

⇒ **企業の送迎バスと路線バスの一体化【佐賀県鳥栖市】**

- ・鳥栖市と民間企業の共同運行にあたっては、路線バスのルートの再編を行っており、バス路線が廃止になる地域が出てくる。
- ・その場合、沿線住民に不利益が生じることとなるが、利用者の実態調査により、沿線の利用者が少ないこと、また、バス廃止区間に新たな交通資源としてミニバス（乗合タクシー）を運行するなどの対応を図ったことにより、反対の声はなかった。

知恵袋 低コストな運行を可能にした交通事業者の経営努力

⇒ **大学・病院・福祉バスの一元化による官民共同運行コミュニティバス【北海道当別町】**

- ・当別町では、関係者が合意できる路線、ダイヤとするために増便等を計画したが、その一方で各主体が独自運行していた経費よりも下がることを前提としていたため、そのようなコストで引き受けてくれる交通事業者がいるのかが課題となった。
- ・しかし、運行を引き受けた交通事業者は、運転手の退職者活用や既存の事業で使用していた貸切バスの利用など、工夫すれば可能であると判断した。このような交通事業者の経営努力が低コストな運行を可能とした。